



FOR TOKYO 2020 CAMPUS TOPICS



本学の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連ニュースをお伝えいたします

2019.08. \ 学外文化イベント / 渋谷区文化プログラムMERRY SMILE SHIBUYA for 2020に学生が参加しました



本学からの催し物として区内大学連携企画テントにて、昨年に引き続き、目隠しをしてうchwに筆で文字を書く「ブラインド書道」を実施しました。実際に体験したメンバーは「ただ目隠しをしているだけなのにこんなに難しい。」と、目の見えない方の不自由さを実感した様子でした。また、今年は新たに「ペットボトル風鈴」のワークショップを行い、メインステージでは吹奏楽部が他大学と合同でコンサートを実施しました。

特に、ブラインド書道という珍しさから多くの外国人来場者の方にも楽しんで頂けました。'年齢・性別・国籍・障がいの有無を問わず多様な『個性』を持つ人たちと触れ合う'というイベントのコンセプトに沿った経験をし、沢山の来場者に対して、最後まで笑顔で迎えていた学生たちは達成感に満ちた様子でした。



2019.08. \ 学外研修会 / 新国立競技場建設状況と周辺地域の今後の開発について学外研修を行いました



オリパラプロジェクトメンバー対象で新国立競技場建設状況と周辺地域の今後の開発について学外研修を行いました。

当日参加した9名のプロジェクトメンバーは、東京都新宿区にある日本青年館ホテルから新国立競技場建設状況と周辺地域の状況を下に見ながら、今後の開発についてのお話を伺いました。

会場となった日本青年館ホテルの一室からは、新国立競技場だけでなく神宮球場や秩父宮ラグビー場、明治神宮外苑や赤坂御用地まで見渡すことができ、参加した学生は大会期間中の開催イメージを膨らませていました。その後1年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックについての意見交換を行い、各プロジェクトの進捗などについて理解を深めました。



2019.05. \ 創立120周年イベント / 「実践女子学園フェスティバル(Jフェス)」でスポーツ体験コーナーを行いました

「実践女子学園フェスティバル(Jフェス)」では、本学が積極的に推進する東京2020大会の競技であるボッチャ、ボルダリングに加え、フェンシングについてはVR体験を通じて来場者がオリンピック・パラリンピック競技を身近に感じられる体験コーナーを設けました。

【ボッチャ】パラリンピック正式種目であるボッチャは、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツです。子供から大人まで一緒に大はしゃぎする姿が印象的で、まさにユニバーサルスポーツであることを体験できました。

【ボルダリング(スポーツクライミング)】2メートルの高さの特設ボードが設置され、トレーナー指導の下、子供や中高生を中心に競技の奥深さを理解するきっかけとなりました。

【VRフェンシング】VRフェンシング体験では、フェンシング協会からナショナルコーチやユース世代の日本代表をゲストに招き、競技についての理解を深めることができました。

体験コーナーは、2日間で合計800人を超える老若男女のみなさまに体験いただき、大盛況のうちに終えることができました。



※学生の学年・教員の職位表記は2019年度のものです
発行：2020年10月 オリパラ推進室